

理事長挨拶

安宅勝弘（東京工業大学保健管理センター）

特定非営利活動法人 全国大学メンタルヘルス学会は、大学精神衛生研究会として 1980 年に発足した全国大学メンタルヘルス研究会（1995 年に改称）が法人化、学会化することを目的に設立された組織です。

同研究会の第 36 回大会（2014 年 12 月、京都・龍谷大学にて開催）での運営委員会から法人化の検討を始め、これに関わる準備委員会を立ち上げ、手続きを進めてまいりました。法人設立についての研究会会員への説明を経て、2015 年 12 月 10～11 日に福岡で開催された第 37 回大会の総会において、研究会は 2016 年 3 月末日をもって組織としては解散し、本学会に移行することが承認されました。

全国大学メンタルヘルス研究会の会員は、大学におけるメンタルヘルスの問題に関わる専門家や教職員であり、医師、カウンセラー、看護職など多職種であるばかりでなく、各職種にもさまざまな専門領域のエキスパートがおられます。青年期のメンタルヘルスの問題は、この 30 年を振り返っても、神経症病像の変化や統合失調症の軽症化、うつ病概念の拡がり、発達障害への急激な関心の高まりなど、さまざまな変化がみられます。そして大学においては、必ずしも診断がつくような病態ばかりではなく、広くサブクリニカルな状況や、教育的な配慮に基づく対応が求められます。こうしたなか、学生に関わる教職員への支援もますます重要になってきています。

このようにわれわれに関わる問題は多岐にわたりますが、対応するわれわれの側のスキルや方法論にも進化・発展が求められます。大学の構成員（学生、教職員）のメンタルヘルスの向上のために、またこれを通じて社会全体の利益の増進に寄与するためには、継続的かつ安定した組織運営が求められ、それには任意団体ではなく法人格を取得し活動することが最適と考え、本学会の設立へと至った次第です。

本学会が、大学をはじめとする高等教育機関において日々地道な支援活動にあたられている方々にとって、有益な情報発信・交換の場となることを切に願っております。会の更なる発展は、ひとえに皆様の積極的な参加、ご協力にかかっています。理事長の役目は、それをしやすくする仕組み作りを進めることにあると考えます。微力ながら学会の役に立てるよう、今後努力して参りますのでどうぞよろしく願いいたします。